

「③安定供給の確保」に関する専門会合での議論

	事業者の御意見	委員のコメント
③-a 公募等による調整力の調達	<ul style="list-style-type: none"> 調整力の公募の活用（エネット） リアルタイム市場の検討早期化（エネット） 地域偏在する既存の下げ代調整機能について、送電線と一体的に広域的な運用が出来る仕組み（電発） 電源Ⅱの調達のための環境整備（電事連） 	<ul style="list-style-type: none"> ネガワットは2017年に市場創設、2020年にはリアルタイム市場を創設する。送配電事業者は、今後、早い調整力、遅い調整力が出てくるので、調整力のレベルを2つにわけて調達や要件などを示す必要がある
③-b ネガワットの活用	<ul style="list-style-type: none"> 他需要家からのネガワット活用モデル（エネット） 	(同上)

その他に関する専門会合での議論

	事業者の意見	委員のコメント
	<ul style="list-style-type: none"> 既存のネットワーク設備の運用については、広域運用の拡大、メンテナンス手法の全国統一化等を通じ、運用コストの低減を図る必要がある（風力） 割引対象は一定規模以上の電源に限定すべき（昭シェル） 「一般負担の限界」に関する解釈を明確化すべき（昭シェル） 系統利用者の創意工夫を促進するサービスの提供（エネット） 事業運営に必要な費用（アンシラリー費用、インバランス費用等）を適切に回収できることが必要（電事連） 電源に由来する送配電費用（修繕費等）については当該電源に負担を求めることも一考（電事連） 	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示に関する提案は非常に重要。どういう情報がほしいか具体的に出して行ってほしい。情報がオープンになった上で、いろいろなプレーヤーが協力して、経済合理性の高い電力システムを形成していくべき。

※制度設計専門会合の事業者提出資料及び議事概要をもとに整理